

4月 おたまじゃくし 詞 /五十野惇

- ① おくつが ひとつ あめに ぬれた
そこへ かえるが やってきて
おくつの なかに かえるの たまごを うんだ
へえー？
- ② おくつが あるひ びくっ うごいた
おたまじゃくしが げんきよく
おくつの なかで すーいすい すーいすい およいだ
へえー？
- ③ もっともだ もっともだ
おたまじゃくしは かえるの あかちゃん だもん



学生のプログコメントから

私にとって、カエルとおたまじゃくしはとても未知の生物です！！まず、卵の形、色、手触り感からして普通とは少し異なっていると思います！さらに、ふ化をしてもカエルになるのではなく、黒いふにゃふにゃした生物なることが不思議でたまりません！！幼い頃、実際に卵からカエルまで育てたことがあります、本当に「へーえ！！？」という反応ばかりしていました☆この歌詞を読んで、そんなことを思い出しながら、改めて生物の不思議さを感じました。

久しぶりにおたまじゃくしを見て、昔はよく見に行ったなぁと懐かしい気持ちになりました

た。カエルは苦手ですが、おたまじゃくしは結構好きで、特に成長の過程で足だけが生えているときは本当にカエルになるんだなあ、おたまじゃくしのままの方が可愛いのに……と思いつつ、あの不器用な感じに興味津々だったことを思い出しました。

おたまじゃくしの歌詞の最後の、“あかちゃんだ”と“もん”の間の一拍の間が、なんだかとても可愛らしくて、先生の雰囲気が出てるなあと感じました☆

先生の歌詞は可愛くて素直で、子供の気持ちがすごく表れていると思います。私もこの授業を通して、先生のように頭を柔らかくして想像力豊かになって子供の気持ちがわかるように頑張りたいと思います。授業楽しみです。よろしくお願いします

4月 せっせっせ・さくら 詞 /五十野惇

- ① せっせっせ
さくらの きだ せっせっせ
はなの め ふくらんだ
はっぱの め どこだ
せっせっせの はな はっぱ
- ② せっせっせ
さくらの きだ せっせっせ
はなの め ひらいた
はっぱの め ついた
せっせっせの はな はっぱ
- ③ せっせっせ
さくらの きだ せっせっせ
はな はな ちった
はっぱ はっぱ ひらいた
せっせっせの おしまい



学生のブログコメントから

「せっせっせっ」という言葉が、桜の花が咲き散るまでを分かりやすく説明していると思いました。短いからこそ、一瞬一瞬が美しい…そのことを、この歌を使い、子どもたちに伝えたいと思いました。

せっせっせっ という言葉が桜の花がいつきに咲いてあっという間に散ってしまうという

イメージを感じました。桜の花の命は短いけれど、そのぶん一生懸命に咲いている桜の花の姿を子どもたちに見せたいと思いました。

サクラが咲いてから散るまでを『せっせっせ』という言葉であらわしているように思いました。サクラは、咲いたら瞬く間に散ってしまうので小さな子供にとってはなんてあらわしたらいいのか分かりにくいですが、この『せっせっせ』によってどんな人にもわかりやすく表現していると私は思いました。

最近、学校の周りや家の周りのさくらの花びらがたくさん散ってきているのが気になって、少しさびしい気持ちだったのですがパピー先生の歌を歌っていたら少し気持ちがあつたかくなりました。せっせっせ、さくらの きだ せっせっせ・・・このせっせっせというところで二人一組になり、手を合わせて遊べば、体を使いながら歌を覚えることができると思いました。最後にじゃんけんをしても面白いと思います。



4月 たんぽぽ むきむき

詞 /五十野惇

- ① あはははは だれかさんが わらった
たんぽぽの はな
むきむき わらった
「たんぽぽの」 はなつて ちいさい はなが あつまつて いるのね
あはははは わらいごえ いっぱい
- ② あはははは だれかさんが わらった
たんぽぽの わたげ
ふきふき わらった
「たんぽぽの わたげつて ちいさい たねが あつまつて いるのね」
あはははは わらいごえ いっぱい

学生のプログコメントから

学校の近くの広場にもたくさんのたんぽぽが咲いています。たんぽぽは指輪にしたり、れんげのように髪飾りにしたり…その季節にしかできない遊びです。

“たんぽぽ むきむき”の歌にあるように、こどもたちはたんぽぽの花はひとつではなく

て、たくさんの花からできているということを知ったら、とっても驚くと思います。

タンポポの黄色って、何だか心を明るくしてくれますよね！！特に、沢山あると色鮮やかで暖かい気持ちにさせてくれます。小さい頃に、よくタンポポの綿毛で遊びました。空をふわふわ飛んでいる姿がああ頃は好きで仕方なかったです。

むきむきって表現がなんだかおもしろいです。すごく元気な感じが伝わってきます。ちいさいはながあつまっていて、わらいごえがいっぱいってところがかわいくて好きです。こどもとお散歩いったときにうたってあげたいです。

子供たちがみんなで手をつないで小さな円になって「はな むきむき わらった」のところでみんな笑顔で円を大きくする。その様子が小さなはなが集まったように見えると思います。2番目は、はじめと同じように集まり最後の綿毛のところでみんなでかけっこしたら楽しいと思います。

タンポポを見ると春の訪れを実感しますよね！それにタンポポのわたげは、ふわふわ飛んでいって、新しい芽を出すことへの期待や希望が表れていて、想像すると、ほんわかした気持ちになりました。この文章は、タンポポの明るいイメージや、暖かい春の陽気がよく表されていて、わかりやすくかわいらしいと思いました

4月 チューリップやさんの おとしもの

詞 /五十野惇

★ こんにちは こんにちは
チューリップやさんの おとしもの
おはなが おちました
ひろって あげましょ
きいろ ピンク むらさき しろ あお あか
あかんべい
フライパンで あげましょうか
あっはっは さようなら



学生のプログコメントから

この、「チューリップやさんのおとしもの」というお話、好きです。読んでいくうちに春のあったかさや色とりどりの春を感じます。ただ、春を感じるだけでなく、「あか、あかんべい」などちょっとした遊び心もありとても楽しいです。

チューリップに「おちました ひろってあげましょう」と話しかけているところがいいと思いました。成長していくと花に触れることが少なくなっていました。このような話を読んでみると子供たちと一緒に花以外の自然に触れてみたくなってしまう。

この歌は子供の目線で歌詞が書いてあるので、小さい子にとってはとても楽しい歌だと思いました。チューリップにはどんな色があるか、この歌を歌うことによって覚えることが出来ていいと思います。落ちた花びらをセロテープでくっつけようとする所も、子供ならではの考えなので、大人の先生がそうゆう事を考えられるのはすごいと思います。

かわいいうたですね。あっはっはが気に入っています。セロテープではりましょかという表現が何と言っても最高ですけど！先生の頭にはこんな可愛いうたがプクプクと浮かんできちゃうんですか？

結構残酷な歌だなと感じました。フライパンがなぜでできたのか不思議です。



4月 なのはな ピチパチポン

詞 /五十野惇

- ① あるひ あるとき ピチパチポン
なのはな ばたけは ピチパチポン
ほら きこえるよ
いってみよう ピチパチポン ピチパチポン
よんまいの はなびら みつけた ピチパチポン
おひさまと はなびらの おしゃべり
ピチパチポン おもしろい
- ② あるひ あるとき ピチパチポン
なのはな ばたけは ピチパチポン
ほら きこえるよ
いってみよう ピチパチポン ピチパチポン
あぶらになる たねを みつけた ピチパチポン
ママが てんぷら あげてる おっとと
ピチパチポン おもしろい

学生のプログコメントから

とても『ピチパチポン』という音が可愛いと思いました。この歌ではとても『ピチパチポン』という言葉が印象に残ったので、『ピチパチポン』という言葉で『ピチ』『パチ』『ポン』の3つに分けて、子どもたちもチームに分けて声でいったり、音を鳴らしたりしたらいいのではないかと思います。歌もなじみやすく、ピチパチポンというのは、子どもたちも喜んで歌ってくれそうです。

この詩に書いてある、菜の花と『ピチパチポン』って音が似合っていてとてもかわいらしいと思いました。菜の花は、春の暖かい季節の花で『お日様と花びらのおしゃべり』ってところで暖かさを感じました。

菜の花油！オチがおもしろいです（^0^）途中までは、菜の花のうでで小人が花をトランポリンのようにして飛び回っているのがイメージされました。上を向いている花びらはお日様とどんな話をするのでしょうか。とてもほがらかな春の陽気を感じさせてくれます。ピチパチポンを繰り返すことで、リズムカルに詩が進んでいて、とても楽しそうに子供が歌っているようです。外で走り回って夕方お家帰ると、お母さんが夕飯にてんぷらを揚げていた。という情景でしょうか…

4月 みつばち みつばち はなの なか

詞 /五十野惇

- ① みつばち みつばち はなの なか
はなの なかには なにがある
おいしい おいしい みつが ある
とんで とびこめ はなの なか
- ② みつばち みつばち はなの なか
はなの なかには なにがある
おいしい おいしい こなが ある
とんで とびこめ はなの なか



学生のプログコメントから

子どもたちにクイズ形式でやると面白く出来ると思いました。みんなでみつばちになりきってつつじなどの花のみつをすいながら歌うと楽しそうです。

可愛いうたですね！！みつばちがなぜ花のなかにいるのか。そういうわけも知られて素敵だと思います。この歌を歌うだけでお花に群がるかわいいみつばちの画がすぐに思い浮かびます。

いつもうたうミツバチの歌は怖いイメージがあるのですが、この歌はかわいいですね。歌を歌いながら、ほんとに蜜を探すのもいいですね。



4月 れんげ ちょんちょん

詞 /五十野惇

- ① れんげ つもう つもう
ことしの れんげは よく さく れんげ
むねに さして ちょんちょん
かみに さして ちょんちょん
- ② れんげ つもう つもう
ことしの れんげは よく さく れんげ
てに まいて すっぽんぽん
みみに まいて すっぽんぽん

学生のプログコメントから

「れんげちょんちょんすっぽんぽん」読んでいだけで愉快的気分になれる言葉のリズムだと思いました。特に「ちょんちょん」の部分が私は大好きです。この文章はすごくリズムにのっている!!!!!!て思いました。こんな読んでいだけで楽しい気分になれるれんげのお話。小さいころを思い出させてくれる感じがしますね。花摘みをしながら歌うと、きっと誰もが楽しい気分になれると思いました。

このお話を見て、小さい頃田んぼで遊んでいたことを思い出しました。うちの周りには田

んぼがたくさんあって、毎年そこには一面れんげの花畑できれいだったことを覚えています。そこではよく従兄弟達と迷路を作ったりして駆け回って遊んでいました。いつ頃からか、除草剤を使うところが増えレンゲが一面咲いているのが見れなくなってしまったのですが、今でもレンゲを見るとその頃のことを思い出して楽しい気持ちになります。

この『れんげ ちょんちょん すっぽんぽん』という唄を読んでよく友だちと花を摘んで花の冠とか指輪をつくったことなど、昔のことを思い出しました。今では忘れてしまいましたが、昔のように花を摘んで冠などを作ってみたくくなりました。先生の唄は子供はもちろん、大人の人も聞いてて楽しくなる唄だと思いました。

4月 サインは「たよさせ」～ちょうちょの たんじょう

詞 /五十野惇

- ★ たよさせ はじめの 「た」 は
たまごの たーくん
ちょうちょが たまごの たーくんを
たんたん うんだからさ
「たーくん！ キャベツ ばたけで みいつけた」
- ★ たよさせ にばんめの 「よ」 は
ようちゅうの よーくん
たまごが ようちゅうの よーくに
ふかふか したからさ
「よーくん！ いもむし ようちゅうの くいしんぼう」
- ★ たよさせ さんばんめの 「さ」 は
さなぎの さーくん
ようちゅうが さなぎの さーくに だっぴだっぴ したからさ
「さーくん！ なにもしないで しずかに してるよ」
- ★ たよさせ たよさせ よばんめの 「せ」 は
せいちゅうの せーくん
さなぎが せいちゅうの せーくに うかうか したからさ
「せーくん！ おそらを とべるなんて いいなー」

たまご ようちゅう さなぎ せいちゅう
ちょうちょの たんじょう
サインは たよさせ